

第 98 回全国安全週間 社長メッセージ

皆さん、常日頃から精力的に業務に取り組んで下さり、誠にありがとうございます。
今年も 7 月 1 日から 7 日まで「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」をスローガンに、令和 7 年度全国安全週間 が実施されます。

昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、これまで全国各地で労使が協調し労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少していますが、近年、休業 4 日以上之死傷災害は増加しており、平成 21 年以降。死傷者数が増加に転じてから続く増加傾向に歯止めがかからない状況となっており、労働災害を少しでも減らして従業員が安全に働くことのできる職場を構築するためには、事業者と労働者が協力しながら安全対策に取り組むことが重要であると感じております。

近年、わが社は従業員が 60 歳を迎えたとしても、当人に働く意思があり継続して勤務する意欲がある方を継続雇用することが増えてきました。社内の高年労働者の数も増加傾向にあることから、高年齢者を含む労働者が安心して安全に働くことができるように、労働災害防止対策や健康保持増進に取り組まなければいけません。常日頃より高年齢者の体調の変化に気を配り、加齢に伴う心身や機能の変化、そして、少しの身体の不調にも気が付けるようにご協力をお願いいたします。

さて、わが社は仕事上、車両運転時の交通災害及びフォークリフト乗務時の激突災害などの労働者の作業行動に起因する労働災害のリスクが非常に高いです。昨今、わが社では物損事故が連続して発生しており、このような小さな災害は大きな災害の予兆であることが多いため、発生の事実とその対策案を共有し会社全体の安全意識を高めなければなりません。特に物損事故の中で多くの割合を占めるリフト作業での事故の防止が喫緊の課題となっているため、例えば「ただ物と接触しただけ」と軽視せず接触事故防止対策として「後方の目視確認」、「爪の製品ごとのマーキング位置確認」、「直接目視出来ない箇所は降車しての確認」などの基本的な取組を徹底するようお願いいたします。

皆さんの大切な家族のためにも、従業員の皆さまで一人一人が安全への取り組みを見直し、決意を新たに「みんなのゼロ災職場」を達成しましょう。

令和 7 年 7 月 1 日
ブルーカーゴ株式会社
代表取締役 水谷 鋭稔